



黎明館企画展

鹿児島城跡国史跡指定1周年・御楼門完成3周年

伝統と革新の 融合 鹿児島城



令和6年 **3/12(火)~6/2(日)**

[休館日] 毎週月曜日(4/29, 5/6 は開館), 4/25, 5/7

【会場】 黎明館3階 企画展示室

【時間】 9:00~18:00(入場は17:30まで)

【料金】 常設展示と共通

一般 410円(300円)

高校・大学 250円(150円)

小・中学生 150円(80円)

※()内は20人以上の団体料金。(料金は令和6年3月12日現在)



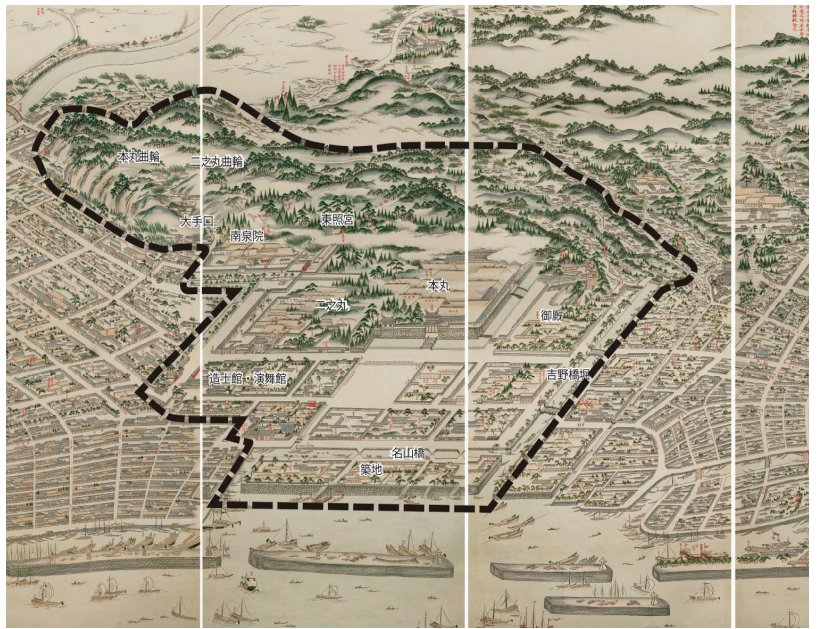
鹿児島県歴史・美術センター黎明館

鹿児島城とは？

鹿児島城（別名：鶴丸城）は、慶長6（1601）年頃に建てられた島津氏の居城で、江戸時代の薩摩藩の政治・文化の中心でした。城山の山城部分と麓の屋形部分からなり、総面積は85%（東京ドーム約18個分）ありました。

現在、鹿児島城の跡地には、鹿児島県歴史・美術センター黎明館など多くの文化施設が建ち並んでいます。令和2年3月には、御楼門が復元され、今でも鹿児島の人々に親しまれています。また、令和5年3月には、近年の発掘調査を中心とした様々な調査によって、鹿児島城の本当の姿や価値がわかってきたことにより、本丸跡を中心とした一帯が、国史跡に指定されました。

本展覧会では、国史跡指定の際に認められた鹿児島城の大きな4つの価値から、その実像に迫ります。



〔---〕は、江戸時代後半の鹿児島城の範囲
天保年間鹿児島城下町絵図(玉里島津家資料)を一部抜粋・改変

第1章 鹿児島城とはどのような城か？

鹿児島城は、城山の一帯を含む山城部分と麓の屋形からなる城です。織田信長が安土城を築いて以来流行した天守をあえて築かず、室町時代以前の山城と屋形という伝統的な城造りを行いました。島津家は鎌倉時代以降、長い間鹿児島を治めていたため、領民に力を示す天守は必要なかったと考えられます。



黎明館1階鹿児島城本丸のジオラマ

島津家は鎌倉時代以降、長い間鹿児島を治めていたため、領民に力を示す天守は必要なかったと考えられます。

第2章 鹿児島城の文化力

本丸跡の発掘調査では、能舞台橋掛り跡（本舞台と控室をつなぐ部分）や優れた庭園遺構などが確認されました。また、茶道具も出土しています。これらから、島津家が軍事面だけではなく、文化面にも力を入れていたことがわかりました。



本丸跡で確認された能舞台橋掛り跡
(鹿児島県立埋蔵文化財センター提供)

これらから、島津家が軍事面だけではなく、文化面にも力を入れていたことがわかりました。

第3章 海を越えた交流

本丸跡からは、中国やヨーロッパの陶磁器や、オランダの書物を参考にして造られたと考えられる石製日時計が出土しています。江戸時代に限られた海外との交流の窓口である琉球と関係が深かった薩摩藩は、海を超えて様々な地域の品物を手に入れ、海外の文化に触れていたようです。



鹿児島城跡出土の石製日時計
(鹿児島県立埋蔵文化財センター提供)

江戸時代に限られた海外との交流の窓口である琉球と関係が深かった薩摩藩は、海を超えて様々な地域の品物を手に入れ、海外の文化に触れていたようです。

第4章 日本の近代化と鹿児島城

幕末、鹿児島城では日本初の電信の実験や琉球通寶の試作、反射炉の雛形作成など、近代化の実験が行われていました。外御庭では、島津斉彬の時代に水練場として使われた可能性のある堀跡が確認されています。



外御庭で確認された井堰をもつ堀跡
(鹿児島県立埋蔵文化財センター提供)

幕末、鹿児島城では日本初の電信の実験や琉球通寶の試作、反射炉の雛形作成など、近代化の実験が行われていました。

企画展記念デザイン 年間パスポート



販売期間
R.6.3/12(火)~6/2(日)
一般 820円
高校・大学生 500円
小・中学生 300円

発行から1年間の有効期間中、何度でも常設展示を御覧いただけます。
(料金は R.6.3/12 現在)

学芸講座（展示解説講座）

「伝統と革新の鹿児島城」
日時：令和6年4月13日（土）
13:30～15:00
会場：黎明館3階 講座室
講師：黎明館主査 西野元勝
※事前申込制
※講座後の展示解説はありません。

ふるさと歴史講座

「地形・地質からみた鹿児島城のみみつ」
日時：令和6年3月16日（土）
13:30～15:00
会場：黎明館3階 講座室
講師：鹿児島大学名誉教授 大木公彦氏
※受講料は無料
※事前申込制（定員80名）

展示解説

日時：令和6年3月23日（土）
4月21日（日）
5月25日（土）
いずれも13:30～14:10
会場：黎明館3階 企画展示室
※要入館料，事前申込不要

鹿児島城跡歴史ウォーク

（黎明館敷地内・常設展示を案内）
日時：令和6年5月18日（土）
13:30～15:00
※要入館料，事前申込不要

Access アクセス

- 鹿児島空港から鹿児島市内行きバス「市役所前」下車、徒歩7分
- JR鹿児島駅から徒歩15分
- 鹿児島中央駅から市電・バス「市役所前」または「水族館口」下車、徒歩7分
- 鹿児島市内巡回観光バス「薩摩義士碑前」下車すぐ
- 無料駐車場あり（普通車125台、バス20台）



自動車・バイク・自転車でお越しの方は、②西門をご利用ください。
①御楼門および③北門は、歩行者のみ通行可能です。（車椅子での通行は危険です。）
車椅子で来場される方には、駐車場まで車でお越しいただくことをお勧めしております。
※御楼門通行可能時間：黎明館開館日の6:30～18:00（休館日は通り抜けできません）

鹿児島県歴史・美術センター黎明館
鹿児島市城山町7番2号 ☎099-222-5100

